

朝刊で詳報します

この紙面は「webunプラス」でも
ご覧いただけます <https://webun.jp>

北日本新聞

号外

2025
令和7年

10/8

水曜日

発行所 北日本新聞社 〒930-0094
富山市安住町2-14
☎076(445)3300(受付案内)
© 北日本新聞社2025

北川氏 ノーベル賞

化学賞

金属有機構造体 開発

京都大特別教授 夢の吸着剤 期待

【ストックホルム共同】スウェーデンの王立科学アカデミーは8日、2025年のノーベル化学賞を北川進京都大特別教授(74)ら3氏に授与すると発表した。授賞理由は「金属有機構造体の開発」。6日に生理学・医学賞に選ばれた坂口志文大阪大特任教授に続く受賞決定となった。

北川氏は、分子が自然と立体構造に組み上がる「自己組織化」の手法を研究。天然ガスなどの気体を、内部の規則正しく並んだ微小空間に貯蔵できる「多孔性材料」を開発した。大気から二酸化炭素(CO₂)だけを選んで回収するなど「夢の吸着剤」として環境分野などへの応用が期待されている。

日本のノーベル賞受賞は、個人では30人目、昨年平和賞を受賞した日本原水爆被害者団体協議会(被団協)と合わせると31例目となった。化学賞は、19年に選ばれた吉野彰旭化成名誉フェロー(77)以来6年ぶり、9人目となる。

北川氏は近畿大助教授を務めていた1990年ごろ、金属イオンや有機化合物などの分子の「自己組織化」を研究。ジャングリズムのような構造の材料を合成することに成功した。

授賞式は12月10日にスウェーデンで開かれる。賞金1100万スウェーデンクラ(約1億7千万円)を3氏で均等に分ける。

きたがわ・すすむ 1951年7月4日、京都市生まれ。74年京都大工学部卒。79年京都大大学院博士課程修了、工学博士。近畿大理工学部助教授などを経て、92年東京都立大理学部教授。98年京都大教授。2013年京都大高等研究院物質・細胞統合システム拠点長、17年京都大特別教授。08年独フンボルト賞、13年江崎玲於奈賞、16年日本学士院賞、17年藤原賞など受賞。11年紫綬褒章。74歳。

購読申し込みは [フリーダイヤル ハチハチ みなよむ](https://webun.jp)
0120(88)3746

webun プラス <https://webun.jp>